



夜須町に子ども食堂 **OPEN!** やすまるちよっこいくん

市内2カ所目となる子ども食堂が、10月に夜須町に開設されました。市社会福祉協議会の運営に、夜須の元気なボランティアさんたちが協力しあって調理を担当。地域の子どもたちのための食堂「やすまるちよっこいくん」は毎月第2日曜日のお昼にオープン中です!!

担当/広報編集委員 久保きみ

やすまるちよっこいくん

子ども食堂は、食事の提供を通じて「地域で子どもを見守る場」そして「子どもや保護者の新たな居場所」となるよう、全国で広がりを見せています。県内では平成30年11月時点で10市9町168カ所開設されています。

市内では平成29年6月に野市町で香南市初の子ども食堂が開設されています。夜須町でも開設への機運が盛り上がり「笑顔の輪がもつともつと広がるように」「みんなが休まる場所に」「気軽に顔を見せに来てくれる場所に」との思いで「やすまるちよっこいくん」と名付けた子ども食堂が始まりました。

強力な協力

食材は地域の生産農家や各団体、商店、企業などからの善意の寄付が大半。新鮮な野菜や肉、魚、調味料などが届けられています。調理は地域の方々がボランティアで行っています。

取材に伺った時に最初に目にしたのは、お揃いのエプロン

姿の子どもボランティアの皆さん。食材を洗ったり、切ったり、たこ焼き作りをしたり、大人に混じって大活躍。どの顔もキラキラした笑顔で、楽しそうに手伝っていました。

子ども大人も笑顔に

中には「人生初の揚げ物に挑戦!」と南蛮漬け用の魚を揚げる姿も。皆さん大量調理に四苦八苦。大鍋山盛り一杯分の大根の千切りに小気味よい包丁の音が響き、計量カップを手に、足し算とかけ算を何度も繰り返し…。なぜか失敗のご飯も蒸し直してクリア! 見事な連携プレーで、オープン時間にはたくさんの手作り料理が並びました。

待ちかねた様に訪れる子どもたちや家族連れの皆さんは、温かい料理を食べながら和やかな笑顔に。地域の子どものための「おいしい!」の笑顔は関わった全ての皆さんの笑顔にもつながります。

ルールを守って

各地では子ども食堂が「安価に食事ができるファミリーレストラン」の様に捉えられ、本当に支援したい地域の子どものために来てもらえないのでは…。といった問題点もみられるようです。子ども食堂の趣旨を理解し、ルールやマナーを守っての利用が大切です。



ちよっこり来てね

地域の子どもたちを、地域の人が見守り寄り添うこの活動で、食事の楽しさや、コミュニケーションの大切さを伝えることもできます。そのためにも子どもが一人でも来られる雰囲気作りと、安心できる居場所作りを目指し工夫しながら頑張っている夜須町のみなさん。ボランティアで参加してくださる方も募集中! 大人も子どもも、ちよっこり行ってみませんか? 「やすまるちよっこいくん」の利用は高校生以下無料、18歳以上200円で、大人のみ利用はできません。場所は夜須福祉センター2階で、毎月第2日曜日の11時から14時までです。

編集後記

▼今年成人の日を迎える息子。この間まで、よちよち駆け寄ってきいていたように感じますが、月日が経つのは早いものです。二〇年前、母親にさせてくれてありがとう。これからもよろしくね。(み)

▼ボクのお嬢も成人を迎えます。「二十歳になったらお祝いで一緒に」と、生まれた時に娘と同じ名前のお酒を買っておいたんです。粋でしょ? お酒行方不明ですけどね…。(た)

▼お正月といえは、お年玉。いつの間にか、もう側からあげる側に。毎年、会うたびに大きくなり、あげる金額も増えていく…。子どもたち、今のうちにたくさんもらってね。(り)

▼明けましておめでとうございませう。平成最後のお正月、いかがお過ごしでしょうか。今年はおもつと、皆さんに楽しく読んでいただける広報をお届けできよう頑張ります! (あ)

《広報へのメール》

kouhou@city.kochi-konan.lg.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.lg.jp

広報がスマホで読める!

マチイロ

アプリダウンロードで最新号の配信を通知!

Kochi ebooks

高知県の情報ポータルサイト